

高たか天あま原の爾に神かみ雷かみ坐ま須ま神かみ魯ら

岐き神かみ魯ら美み乃の命みこと以も氏うぢ皇すめ御み

祖かみ神かみ伊い邪よ那な岐き命みこと筑つく紫むら日ひ

向むか乃の橘たちばな乃の小こ戸と乃の阿あ波なみ岐き

原爾。御襖被比給市時在。

生坐雷被戶乃大神等諸

能枉事罪穢乎。被賜閑清

米賜閑登申須事乃由乎

天津神國津神八百万能

神等共在。天之斑馬乃耳

振立天聞食世登。恐美恐

美毛白須。

徳とく寶ほう嘉か美み惠ゑ民みん稻いな米こめ稔ねん閏にち賜たまはる

閏にち清きよ米こめ賜たまはる閏にち

欠

MISSING

神言

高天原たかまのほら 神留座かみとまりまがし 皇親すめらみこと

神漏岐かみろぎ 神漏美かみろみ 乃命のみこと 以もつ

八百万神等やちまんにがみらふ 乎こゝ 神集々かみむらむらみ

賜たまは比ひ神かみ議ぎ 議ぎ賜たまは天あま吾われ

皇すまみ御み孫まご尊みこと 波なみ豐とよ葦あし原はら乃の

水みづ穗ほ乃の國くに於を 安やす國くに登のぼ平へい介け

久く所まほし知し食け登のぼ事こと依よ 奉たてまつ幾い

如ごと此こ依よ之の奉たてまつ志こころ

國くに中ちゆう仁に荒あら振ふ神かみ達たつ 平へい波なみ神かみ問と

之の仁に問と賜たまは比ひ神かみ掃はら仁に掃はら賜たまは

此こ天あま語ことば問と之の磐いわ石いし根ね樹き立た

草乃垣葉乎毛語止天天

磐座放天八重雲乎伊

豆乃千別仁千別天天降

志 依之奉幾如此依之奉

志

四方乃國中登大倭日高

見乃國乎安國登定奉豆

下津磐根仁宮柱太敷立

高天原 仁 千木高知 立

皇御孫之命 乃美頭 乃御舍

仕奉天 天乃御蔭日 乃

御蔭登隱座 天安國登平

介久所知食 牟

國中 仁成出牟 天乃益人

等加過 犯氣牟 雜々 乃

罪事 波



天津罪登

畔

放地溝

埋植

放地

敷蒔串刺

生剥逆剥

屎戶

許

太久乃

罪平

天津罪登

法別

天

國津罪

止

波

生

膚斷死

膚斷

白人

胡久美已

加

母

犯

世

留

罪已

加子

犯

世

留

罪

母

登

子

登

犯

世

留る罪つと子こ登と母も登と犯か世せ留る罪つと

畜け犯あ世う留る罪つと昆いん虫ちゆう乃の災さい

高かう津しん神しん乃の災さい高かう津しん鳥ちゆう乃の災さい

畜け仆ふく死し蠱こ物ぶつ世せ留る罪つと許こ々々

太た久く乃の罪つと出い武ぶ如に此こ出い波は

天あま津しん宮みや事こと以もつ天てん

天あま津しん金きん木もく乎や本ほん打うち切き末まつ

打うち斷きり五ご千せん座ざ乃の置お座ざ仆ふく

置足波之豆天津管曾乎

本莉斷末莉切豆八針仁

取辟豆

天津祝詞乃太祝詞事

於宣礼如此宣羅波

天津神者天磐戶於押関

天八重雲乎伊豆乃千

別仁千別天所聞食年國

津神波高山乃末短山乃

末仁登利坐三高山乃伊

總理短山乃伊總理於撥

別三所聞食卒

如此所聞食天波

罪止

云罪波不在止科戸乃風乃天乃八重

雲於吹放津事乃如久朝乃御

霧夕乃御霧於朝風夕風

乃吹掃事乃如久大津

邊仁居大船乎舳解

放地艦解放三大海原

仁押放津事乃如久彼方

之繁木加木乎燒鎌乃敏

鎌以互打掃事乃如久

遺留罪波不在止殺賜

此清賜事於高山乃末短

山乃末与利佐久那太理仁

落瀧津速川乃瀬仁坐須

瀬織津比咩止云神大海

原仁持出奈率如此持出

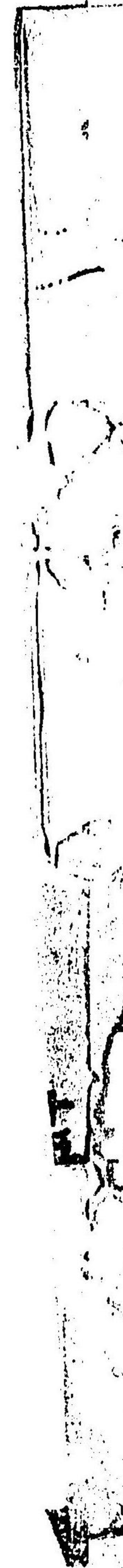
往波荒鹽乃鹽乃八百道

乃八鹽道乃鹽農八百會

仁坐須速開都比咩登云

神持可々かろ香の天武てんぶ如此かく  
可々かろ香の豆ま波なみ氣吹戸きふきど仁に  
坐須ま氣吹戸きふきど主ぬし登と云い神かみ根ね  
國底之國爾くにのくにのくに氣吹きふき放はな豆ま卒す  
國底之國爾くにのくにのくに氣吹きふき放はな豆ま卒す

如此かく氣吹きふき放はな豆ま波なみ根ね國底くにのくにのくに  
國くに仁に坐須ま速すみ佐須さす良比らひ咩め  
登と云い神持かみ佐須さす良比らひ失し  
豆ま卒す



如此尖互波現身乃身

爾毛心爾毛

罪止云亦罪波不在止被

給開清給開止白須

因

- 一 神
- 一 版
- 一 已
- 一 人
- 一 業



一 概此の心  
大正二年

一日 難く果すと取外は事

右の條々 業志の趣

恐らく

主向ふ人の心後

おの海と梅

明治十四年四月出版御届

定價三錢

大阪府平民

出版人 中井新一郎





特41

274

祝詞  
七箇条

013802-000-3

特41-274

天津祝詞神言七箇条

中井 新一郎 / 刊

M14

ABB-0011

